

- 問1 日本の工業地域の特色について述べた文のうち、瀬戸内工業地域における造船業の特徴を具体的に示したものはどれですか。（2022年 東京都公立入試 類似）
1. 島や半島の多い入り組んだ地形を活かして、都市の臨海部でカーフェリーなどの船舶が建造されている。
 2. 北海道の石狩湾周辺において、広大な敷地を必要とする食料品加工業や製紙業が地域経済を支えている。
 3. 神奈川県の東京湾沿岸において、大規模な製鉄所や石油化学コンビナートが立ち並び、原材料の加工が行われている。
 4. 愛知県を中心とした地域において、多くの関連工場が集まる中で世界的な規模の自動車生産が行われている。
- 問2 中国・四国地方の各県の産業について、統計上の特色を正しく説明しているものはどれですか。なお、工業出荷額は製造品出荷額等を指し、農業産出額は各部門の生産実績に基づいた指標を指します。（2021年 埼玉県公立入試 類似）
1. 愛媛県は工業出荷額が10兆円を超えて地域で最も高く、広島県は野菜の産出額が約750億円と突出しており、島根県は果実の産出額が500億円を超えて高い。
 2. 広島県は工業出荷額が10兆円を超えて地域で最も高いが、高知県は果実の産出額が最も高く、愛媛県は野菜の産出額が突出している。
 3. 広島県は工業出荷額が10兆円を超えて地域で最も高く、高知県は野菜の産出額が約750億円と突出しており、愛媛県は果実の産出額が500億円を超えて高い。
 4. 高知県は工業出荷額が地域で最も高く、愛媛県は野菜の産出額が約750億円と突出しており、広島県は果実の産出額が500億円を超えて高い。
- 問3 東京都中央卸売市場におけるナスの月別入荷量を確認すると、群馬県産が夏から秋にかけて入荷のピークを迎えるのに対し、高知県産は1月から5月にかけて毎月1000トン以上の高い入荷量を示し、夏になると減少するという対照的な動きが見られます。高知県がこのような出荷計画を立てている理由として、最も適切な説明はどれですか。（2019年 埼玉県公立入試 類似）
1. 夏の台風被害を避けるため、あえて収穫時期を冬から春のみに限定しているため。
 2. 高冷地の涼しい気候を利用して、他の地域が生産できない冬場に栽培を集中させているから。
 3. 他の産地の出荷量が少ない時期に合わせることで、市場価格が高い時期に有利に販売するため。
 4. 高知県は夏場の気温が非常に高くなるため、ビニールハウス内の温度管理が不可能になるから。
- 問4 本州四国連絡橋の整備が、四国地方の社会や産業に与えた影響を説明した文として、最も適切なものを選択してください。（2024年 和歌山県公立入試 類似）
1. 高速道路網の整備によって、四国地方から本州へ向かう農産物の輸送コストが増大し、四国農業は衰退した。
 2. 本州からの生活物資の流入が完全に停止したため、四国地方における自給自足の体制が確立された。
 3. 瀬戸内海の海上交通がすべて廃止されたことにより、離島に住む人々の生活利便性が著しく低下した。
 4. 自動車や鉄道による本州との往来が容易になり、農産物の出荷や観光客の誘致といった経済的な結びつきが強まった。
- 問5 日本の諸地域の産業構造について、広島県の特色を「工業」と「観光」の両面から説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2016年 和歌山県公立入試 類似）
1. 製造品出荷額よりも農業産出額の方が大きく、特にサクランボや米の生産に特化している。
 2. 宿泊者数は4県の中で最も多いが、製造品出荷額は1兆円を下回り、観光業への依存度が極めて高い。
 3. 農業産出額においてミカンなどの果実が占める割合が突出しており、製造業は地場産業を中心とした小規模なものに留まっている。
 4. 製造品出荷額が8兆円を超えて非常に高く、さらに世界遺産などの観光資源により宿泊者数も多いという、工業と観光のバランスが取れた構造である。
- 問6 鳥取県、島根県、岡山県、広島県の4県の統計を比較した際、人口が最も少なく、かつ県内に戦国時代から江戸時代にかけて世界経済に大きな影響を与えた銀山の遺跡を有している県を答えなさい。（2017年 長崎県公立入試 類似）
1. 鳥取県
 2. 島根県
 3. 広島県
 4. 岡山県
- 問7 1980年代の本州と四国の境界付近では、鉄道が港まで延びて連絡船に接続していましたが、1990年代後半になると瀬戸大橋（瀬戸中央自動車道）が南北を貫通し、かつて港へ向かっていた特定の鉄道線路が消滅しています。このような変化が起きた背景として、最も適切な説明はどれですか。（2023年 群馬県公立入試 類似）
1. 本州と四国の間での物流を強化するため、これまで利用されていた高速道路を廃止し、より大量輸送が可能なフェリーへの切り替えが行われたから。
 2. 瀬戸大橋の開通後、海運の重要性が再評価されたことで、港の機能を強化するために「坂出港駅」のような臨海鉄道の駅が新設されたから。
 3. 高速道路が開通して本州と四国が陸路で結ばれたことにより、それまで鉄道連絡船との接続を担っていた鉄道線路が役割を終えて廃止されたから。
 4. 自動車の通行量が増加して一般道路が混雑したため、交通を分散させる目的で、鉄道連絡船の運航頻度を大幅に増やして港の駅を拡張したから。
- 問8 九州地方の宮崎平野など、冬の温暖な気候を背景にビニールハウスなどの施設を用いて作物の成長を早め、出荷時期をずらす栽培方法の名称として、最も適切なものはどれですか。（2016年 秋田県公立入試 類似）
1. 二毛作
 2. 抑制栽培
 3. 近郊農業
 4. 促成栽培
- 問9 岡山県と東京の間の移動において、航空機の利用割合が約3.5割であるのに対し、鉄道の利用割合が約6割と高くなっています。このように鉄道が主要な移動手段となっている理由として、地理的な背景から説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2018年 愛媛県公立入試 類似）
1. 山陽新幹線の運賃が全国の他の路線と比較して極めて安く設定されており、経済的優位性が高いため
 2. 新幹線の所要時間が約3時間強であり、空港への移動時間等を含めた航空機の利便性と比較して競争力が高いため
 3. 岡山県内には空港が整備されておらず、隣接する県まで移動する手間がかかるため
 4. 東京との距離が非常に近く、航空機を運航させるための採算が取れない距離にあるため
- 問10 山口県的美祢市付近には、日本を代表するカルスト地形である秋吉台が広がっている。このような独特の景観が形成された理由と、その後の利用について述べた文として適切なものはどれか。（2024年 沖縄県公立入試 類似）
1. サンゴ礁などが堆積してできた石灰岩の台地が雨水で浸食されて形成され、現在はセメントの原料として石灰石の採掘も行われている。
 2. 海底が急激に隆起してできた砂岩の地層が波の浸食を受けて形成され、現在は国立公園として観光利用のみに制限されている。
 3. 河川が運んできた土砂が長い年月をかけて積もって形成され、現在はその水はけの良さを活かした果樹園が広がっている。
 4. 激しい火山活動によって噴出した溶岩が平坦に固まって形成され、現在はその広大な土地を活かして牧畜が行われている。
- 問11 四国地方の北東部に位置する県、北陸地方の富山県、紀伊半島の和歌山県、九州地方の宮崎県の4つを比較したとき、この中で「日本で最も面積が小さい」という特徴を持つ県はどれですか。（2023年 富山県公立入試 類似）
1. 愛媛県
 2. 高知県
 3. 徳島県
 4. 香川県